

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 28年3月31日

2次評価日（課長等） 28年3月31日

1 事業名	防災、災害対策事業	コード	91101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林隆志
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	防災、災害対策費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

●事業の内容 (D0)

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	防災・減災対策推進のため、その根幹をなす住民一人ひとりの防災意識を高めるための事業や、各種法令に基づく業務のほか、関係機関との連携や体制整備に関する業務		
目的	対象者	市民	
	意図	防災・減災対策の推進	

5 事業の実施内容	*27年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>①災害危険箇所の視察：4月15日～16日 43箇所 県、警察、消防、市関係職員参加</p> <p>②防災会議：6月1日 岡谷市地域防災計画、岡谷市水防計画の修正等 ：12月7日 岡谷市防災・減災基本条例（案）に対する意見聴取等</p> <p>③岡谷市防災・減災基本条例の制定：平成28年4月1日施行に向けた取り組み（45団体説明会等）</p> <p>④防災啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等：42回1,499名（内31回1,025名は「こども防災教室」） ・岡谷市防災の日（7月19日）関連事業：平成18年7月豪雨災害パネル展の開催7月16日～22日（イルフプラザ）、防災図書コーナーの設置6月27日～7月30日（市立岡谷図書館）、危険溪流市民見学会9月5日（20名参加） ・防災とボランティアパーク：1月15日～21日（16日メイン） 会場 ララおかや 災害関連パネル展、ロープワーク、防災カルタ大会、非常食の試食、住宅の耐震相談、防災関連グッズの展示販売、トン汁の炊き出し等 防災研修会の開催「災害クロスロード」（講師：県防災指導員） <p>⑤諏訪地域防災啓発共同事業「諏訪広域防災講演会」：10月10日 茅野市民館 約400名 演題「MEGA地震予測に挑む」 講師 村井 俊治氏（地震科学探査機構顧問）</p> <p>⑥土砂災害警戒区域（地すべり）指定に係る住民説明会：県による告示3月28日 土砂災害防止法に基づく地すべりに係る土砂災害警戒区域の指定に伴い該当6区などで説明会を開催7回（2月9日～3月9日） 187名</p> <p>⑦災害時応援協定の締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霊柩自動車による遺体搬送に関する協定 3月18日 ・岡谷駅及び川岸駅の帰宅困難者の対応に関する協定 3月18日 ・災害救助活動としての災害救助犬の出動に関する協定 3月25日 <p>⑧GISの防災業務への活用：岡谷市防災ガイドの閲覧整備</p> <p>⑨平成18年7月豪雨災害記録誌の販売</p>			
前年度の課題への対応	平成28年で豪雨災害から10年を迎えるにあたり、豪雨災害で7名の方が亡くなった湊地区で、3年に一度の総合防災訓練を、災害発生日であり岡谷市防災の日でもある7月19日に実施した。また、岡谷市防災・減災基本条例の平成28年4月1日施行に向けて、意見聴取を含む説明会を45団体に対して行った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度(予定)
① 活動指標（指標名）	出前講座開催回数			単位 回
実績値	13	40	42	
*指標の説明	講座等を開催した回数			
② 成果指標（指標名）	出前講座参加者数			単位 人
目標値	300	1,000	1,200	1,500
実績値	610	1,465	1,499	
達成度	203.3%	146.5%	124.9%	
*指標の説明	講座の参加者数			
*目標値の設定方法の説明	回数×30人			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用 (人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位: 円]

区分	25年度	26年度	27年度	28年度(予算)
① 直接事業費	6,564,737	125,139	1,439,208	2,273,000
経常経費	159,737	125,139	1,293,408	1,421,000
臨時的経費	6,405,000	0	145,800	852,000
* 臨時的経費の説明	平成18年7月豪雨災害10年伝承事業に係る費用			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	10,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.25	1.00
③ 合計コスト(①+②)	14,564,737	8,125,139	11,439,208	10,273,000
前年度比		55.8%	140.8%	89.8%
財源	14,564,737	8,125,139	11,439,208	10,273,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	627,672	203,128	268,891	
前年度比		32.4%	132.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位: 件、円、%]

補助金負担金名		25年度	26年度	27年度	28年度(予算)
地域防災啓発共同事業負担金	件数	0	0	1	1
	金額	83,368	47,501	47,324	48,000
長野県地震対策強化地域連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	83,368	47,501	12,500	12,500
長野県消防防災航空隊市町村負担金	件数	0	0	1	1
	金額	0	0	1,149,100	1,262,900
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	166,736	95,002	1,208,924	1,323,400
	割合	2.54%	75.92%	84.00%	58.22%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	102.3%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	124.9%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民一人ひとりのさらなる防災・減災意識の高揚及び醸成 ・岡谷市緊急メールサービス「メール配信@おかや」の登録者数
改善 方法	<p>(上記の課題をふまえて28年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな機会をとらえ、多くの手段による地道な広報啓発活動を行い、多くの住民が目にしたりに取り取るなど、身近に感じられる工夫を凝らした内容とする。 ・平成28年度は、「平成18年7月豪雨災害10年伝承事業」に合わせ、幼稚園・保育園における「こども防災教室」に加え、小中学校における災害パネル展や出前講座等の啓発の機会を設ける。
改善開始時期	平成28年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による28年度の優先度 *H26年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---